



小祝さくら

北海道出身の女子選手で急激な成長曲線を描いているのがプロ3年目、25歳の政田夢乃(札幌市出身)だ。

「トーナメントでレベルアップできている。去年に比べてトップ10の回数も増えていて、素直にうれし」。そう話すように、年間トップ10の回数は現在5位の6回。昨年の3回から早くも倍増した。今年6月のヨネックス・レディースは過去最高タイの2位、ニチレイ・レディースは首位と1打差の4位。上位争いの常連となり、いつ優勝してもおかしくない。

5月のリゾートトラス・レディースではホールインワンに成功し、賞金800万円を獲得。これは日本女子プロゴルフ協会による、ファンと選手の投票で決定する同月のベストプレーに選ばれた。「まさか入るとは思わなかったけれど、一応目標は狙っていた。その後も自信を持ってショットを打てるようになった。良い一打だった」と満面の笑みを浮かべる。

好調の要因はドライバーの平均飛距離の伸び。

# 夏の頂へ 勝負の一打

## ミネベアミツミレディス あす開幕

ゴルフの日本女子プロツアーで道内開幕戦となる「ミネベアミツミレディス北海道新聞カップ」(北海道新聞社主催、特別協賛ミネベアミツミ)が9、12日、札幌市南区の真駒内カントリークラブ空沼コースで行われる。大会は今年で4回目。北海道出身選手11人を含めた約120選手が緑豊かなコースで頂点を目指す。(平田康人)



政田夢乃

## 政田 飛距離伸ばし急成長

2000年生まれのプロラチナ世代。中学と高校の全国選手権を制するなど、世代トップを走っていたが、プロテストは4回壁にはね返され、5回目で合格した苦学人でもある。それでも「年下も増えてきたし、年上で頑張っている方もいる。年々、あまり関係ないかな」と自らのプレーに集中する。

昨年のミネベアミツミは6位。会場のコースは北海学園札幌高のところに何度か経験しているといふ。「一回りして、(自分にとって)良いところも悪いところも本当に知り尽くしている。北海道で優勝したい気持ちもある」。好調を維持し、初のツアー優勝を飾る準備を進めている。

ツアー通算優勝回数12回を誇る小祝さくら(北広島市出身)は、2002年(空知管内南幌町)の第1回大会女王。3年の第1回大会女王。昨年、今季は17戦中12戦で予選落ち。「ショットの調子が悪い」と苦しむが、「焦らず、結果が出るまで頑張りたい」と自信を持って話している。ミネベアミツミに向けては「地元なので、いい感覚を取り戻せたら」。険しい大会(本州とは異なる)で復調を誓う。

宮沢美咲(千歳市出身)は第1回大会で5位。この時は2日目首位と1打差、3日目は2打差の2位と首位争いを

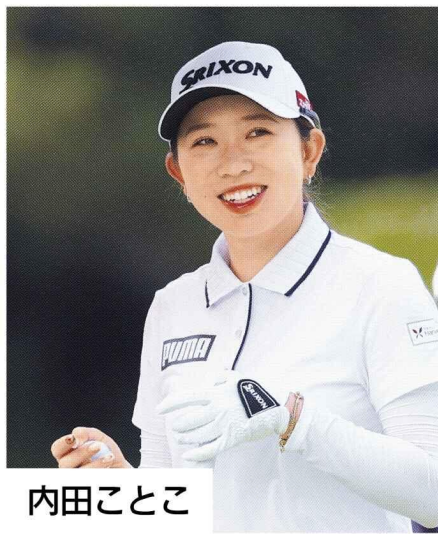
## 小祝、内田 地元で復調期す

ツアー通算優勝回数12回を誇る小祝さくら(北広島市出身)は、2002年(空知管内南幌町)の第1回大会女王。3年の第1回大会女王。昨年、今季は17戦中12戦で予選落ち。「ショットの調子が悪い」と苦しむが、「焦らず、結果が出るまで頑張りたい」と自信を持って話している。ミネベアミツミに向けては「地元なので、いい感覚を取り戻せたら」。険しい大会(本州とは異なる)で復調を誓う。

宮沢美咲(千歳市出身)は第1回大会で5位。この時は2日目首位と1打差、3日目は2打差の2位と首位争いを

ダミン・カップで今季3度目の1桁順位となる8位。ミネベアミツミ所属のホステスプロとして「1年で一番頑張りたい試合」と調子上げている。

北海道出身選手はこのほか、吉本こころ(札幌市出身)、主催者推薦で山田彩歩(札幌市出身)、成沢祐美(札幌市出身)に加え、産休を経て今季復帰した藤田光里(札幌市出身)が出場。アマチュアからは東京国際大3年の本間渉(北星大付高出)、明大1年の齋藤碧夏(札幌光星高出)がエントリーしている。



内田ことこ



宮沢美咲



阿部末悠

## 優勝争いは混戦模様

優勝争いは混戦模様だ。今季のツアーで2回勝ったのは3人で、そのうち今大会に出場するのは河本結のみ。賞金ランキングトップで、今季の目標に掲げた賞金1億円を既に突破した21歳の菅楓華、ヨネックス・レディースでツアー初優勝を遂げた22歳の吉田鈴、米ツアーを主戦場とする同じく22歳の桜井心那らが頂点をうかがう。国内の各大会と海外メジャーの成績をポイント化したメルセデス・ランキング上位の佐久間朱莉、桑本志帆らは同時期にフランスで行われるメジャー大会に出場予定のため欠場する。

## 観戦ガイド

◇競技方法 4日間72ホール(ストロークプレー)。予選ラウンド36ホール終了後、上位60位タイまで決勝進出。

◇賞金 総額1億円。優勝1800万円。ほかにホールインワン賞はMAZDA ROADSTER(マツダロードスター)。

◇チケット 前売り券で各日3500円。小学生以下無料(保護者同伴が必要)。道新プレイガイド、ローソンチケット、セブンチケットほかで販売。最終日の午後2時まで購入できる。会場での当日券の販売はない。

◇主な催し 11、12の両日、日本女子プロゴルフ協会(JLPGA)ティーチングプロによるアプローチやバンカーなどの無料レッスン。当日受け付けで、一般とジュニアに分けて複数回行う。各回40分で定員10人。

◇アクセス 地下鉄真駒内駅と会場を結ぶ無料送迎バスを随時運行する予定(始発は9～11日が午前6時10分、12日が6時40分。会場発の最終便は9～11日が最終組ホールアウトの約30分後、12日は表彰式終了の約30分後を予定)。車の場合は「札幌芸術の森」内にギャラリー向け有料駐車場がある。観戦日の前日までに前売り駐車券(1日千円)の購入が必要。駐車券の購入サイトや催しなど、詳細は大会ホームページ=QRコード=から。

## 出場予定選手 7日現在

- |   |   |   |   |  |   |
|---|---|---|---|--|---|
| 青木香奈子<br>青木瀬奈<br>穴井詩<br>★阿部末悠<br>天本ハルカ<br>荒木優奈<br>イ・ミニョン<br>池ヶ谷瑠菜<br>泉田琴菜<br>伊藤愛華<br>稲垣那奈子<br>入谷響<br>植竹希望<br>★内田ことこ<br>エイミー・コガ<br>大出瑞月<br>大久保柚季<br>大里桃子<br>大山志保<br>岡山絵里 | 沖せいら<br>奥山純菜<br>尾関彩美悠<br>加藤麗奈<br>金田久美子<br>神谷そら<br>☆神谷ひな<br>神谷桃歌<br>川岸史果<br>川崎春花<br>河本結<br>木戸愛<br>熊谷かほ<br>倉林紅<br>★小祝さくら<br>小暮千広<br>小林光希<br>☆後藤あい<br>後藤未希<br>権藤可恋 | サイ・ペイイン<br>★斎藤夏<br>斎藤愛瑠<br>桜井心那<br>ささきしょうこ<br>佐藤心結<br>下川めぐみ<br>申ジエ<br>ジ・ユアイ<br>全美貞<br>菅楓華<br>鈴木愛<br>セキ・ユウティン<br>高木優奈<br>高久みなみ<br>高野愛姫<br>高橋しずく<br>但馬友<br>田村萌来美<br>★茶木詩央 | 千田萌花<br>常文恵<br>鶴岡果恋<br>寺岡沙弥香<br>鳥居さくら<br>中沢瑠来<br>仲宗根澄香<br>仲村果乃<br>中村心<br>永井花奈<br>☆長沢愛羅<br>永嶋花音<br>永田加奈恵<br>永峰咲希<br>★成沢祐美<br>西沢歩未<br>野沢真央<br>浜崎未来<br>平塚新夢<br>蛭田みな美 | P.サイパン<br>福田萌維<br>福山恵梨<br>藤田かれん<br>★藤田光里<br>藤本愛菜<br>古家翔香<br>ペ・ソソウ<br>堀琴音<br>★本間渉<br>前多愛<br>★政田夢乃<br>松田鈴英<br>三ヶ島かな<br>皆吉愛寿香<br>都玲華<br>★宮沢美咲<br>六車日那乃<br>村田理沙<br>森井あやめ | 森田遥<br>森村美優<br>安田彩乃<br>安田祐香<br>山下心暖<br>山城奈々<br>山路晶<br>★山田彩歩<br>山本景子<br>吉川桃<br>吉崎マーナ<br>吉沢柚月<br>吉田鈴<br>★吉本こころ<br>吉本ひかる<br>米沢有<br>笠りつ子<br>脇元華<br>渡辺彩香 |
|---|---|---|---|--|---|

★は道内出身選手、☆はアマチュア

# ミネベアミツミ レディス 北海道新聞カップを応援しています!



大会の詳細はこちら [ミネベアミツミレディス](#)



# ミネベアミツミレディス 北海道新聞カップ